

弘前大学
教育学部紀要

第 111 号

平成26年 3 月

Bulletin of the Faculty of Education
Hirosaki University

No. 111

March 2014

弘前大学教育学部

Hirosaki, Japan

目 次

秋田県立図書館所蔵往来物の出版地域に関する一考察 —弘前・酒田・山形との比較検討—	郡 千寿子 (1)
文学教育における評価	鈴木 愛理 (7)
戦後開拓地のライフヒストリー (3) —岩手上郷分村における「開拓二世」の女性たちのライフコース—	高瀬 雅弘 (17)
北方史研究の成果を活用した高等学校日本史の単元開発 —13～16世紀の和入・アイヌ民族の関係史を題材として—	金子 勇太 (31) 小 瑤 史 朗
中学生のためのインフレーション理論	佐々木 翔太 (43) 佐 藤 松 夫
音楽学習としてのサウンドウォーク	石 出 和 也 (47)
小学校における「音美体」はどういう概念か	麓 信 義 (55) 上 野 秀 人
幼児におけるタッピングの強さと速さの制御行動	麓 信 義 (63)
ネット・ケータイリスク教育論の試み	大 谷 良 光 (73)
果実類の水可溶性画分由来オリゴ糖の大腸ガン培養細胞に対する影響	伊 藤 聖 子 (83) 太 田 敬 子 加 藤 陽 治
ニュージーランドにおける家庭内保育所の歴史的変遷に関する研究 —保育制度内での位置付けに注目して—	飯 野 祐 樹 (89)
ニュージーランドにおけるコハンガレオ (Kōhanga Reo) の設立過程に関する研究	飯 野 祐 樹 (95)
社会文化的アプローチを用いた保育評価の基礎的研究 —理論背景の検討を中心に—	飯 野 祐 樹 (107)
米国コア音楽標準草案における聴取の扱い —第8学年までの標準の検討を通じて—	武 内 裕 明 (113)
幼稚園の実習生は何を手掛かりに保育を構想するのか —ぶどうに目をつけた製作場面に関するインタビューから—	武 内 裕 明 (121)
アメリカと日本の保健教育の比較 —小学校低学年の米国保健教育スタンダード (NHES), 保健教育分析ツール (HECAT) と HealthSmart の検討—	面 澤 和 子 (129)
教員養成カリキュラムの効果検証 —自我同一性地位を中心とした3世代間比較—	豊 嶋 秋 彦 (139) 福 島 裕 敏 吉 崎 聡 子 平 岡 恭 一 吉 中 淳
中学生の時間的展望と進路選択自己効力 —進路成熟態度別比較—	矢 田 智 美 (149) 吉 中 淳

弘前大学教育学部紀要刊行及び投稿規定

弘前大学教育学部紀要編集委員会

1. 本紀要は本学部で行われた研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2. 発行は原則として各年度の10月及び3月の年2回とし、各号はA4版で約150ページとする。
3. 原稿の締切は概ね7月下旬及び1月上旬とする。
4. 論文の著者には本学部の教員が含まれていなければならない。
5. 論文の本文は横書きの和文又は英文を原則とする。
6. 各論文の長さは図表等を含めて刷り上がり10ページ以内とする。なお、印字の大きさは9ポイント活字相当とし、1印刷ページは和文で1行24字、45行の2段組で2,160字とする。英文等の場合は1段組とする。
7. 原稿の作成に際しては所定の執筆要領（別掲）に従うものとする。
8. 掲載順序など、編集に関することは紀要編集委員会が決定する。なお、論文の内容等について疑義が生じた場合、本委員会は著者と協議し、必要があれば訂正等を求める。
9. 原稿の受理後における内容の変更等は認めない。
10. 校正は原則として著者が行い、2校までとする。
11. 論文が11ページ以上に及ぶ場合や、カラー印刷や図版の作製などに特別の経費を要する場合には、その経費は原則として著者負担とする。
12. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とすることがある。
13. 別刷を希望する場合は、投稿の際に必要な部数を申し出る。経費は著者負担とする。
14. 本紀要に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、本委員会は掲載された論文を電子化し、「弘前大学学術情報リポジトリ」に掲載して公開することができるものとする。

この規定は、平成20年4月から施行する。

弘前大学教育学部紀要執筆要領

1. 原稿は、手書きの場合字数が明確になるよう原稿用紙に記載する。また、タイプライターやワードプロセッサ等を用いる場合にはA4版の用紙に印字する。なお、パソコン等による原稿には、使用したハードウェア及びソフトウェアを明記したフロッピー・CD-R等を添付することが望ましい。
2. 原稿には論文題名、著者名及び所属が和英両語で記載されていなければならない。なお、英語に変えて、他の汎用性の高い言語を用いてもよい。
3. 本文の前には同一の言語による要旨（Abstract）及び、キーワードを置く。要旨は和文の場合には400字以内、英文等の場合には120語以内とする。なお、更に別の言語による要旨をおいてもよい。キーワードは数語以内とする。
4. 文献の引用は原則として本文中の該当個所の右肩に片括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載誌名、巻・号、ページ、発行年を、また単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。
5. 印刷に当たって指定したい事項（字体、下線、図表の挿入個所など）は原稿内に朱書するなどして明示する。
6. 図表（写真、楽譜等を含む）はなるべく少数にとどめ、本文原稿中に挿入することは避け、原則としてひとつずつA4版程度の白色台紙に貼り添付する。なお、図表の表題、指定事項等は台紙の端に記載する。また、図表は直接製版できるような明確なものとし、図中に文字などを写植する必要がある場合には明確に指示する。
7. 原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」を添付し、編集委員に確認を受ける。

編集委員会

齊藤利男(委員長)

石川善朗

大坪正一

櫻田安志

弘前大学
教育学部紀要
第111号
(2014年3月)

平成26年3月22日印刷
平成26年3月27日発行
編集兼発行者
弘前大学教育学部
弘前市文京町1番地
電話(0172)36-2111(代)
印刷所 小野印刷
弘前市富田町52
電話(0172)32-7471(代)

CONTENTS

Some considerations about the publication area of "OURAIMONO" documents of Akita Prefectural Library possession :Comparison with those of Hirosaki, Sakata, and Yamagata	Chizuko KOHRI (1)
The assessment in the literature education	Eri SUZUKI (7)
A Life History approach to Postwar Reclamation(3) :Life Course Pattens of Second Generation Women in Kamisato clearance, Takizawa, Iwate	Masahiro TAKASE (17)
Creating a lesson plan for High school students focusing on history of the northern area of Japan island in 13th~16th century	Yuta KANEKO (31) Fumiaki KODAMA
Inflation Theory for Junior High School Students	Syota SASAKI (43) Matsuo SATO
Soundwalk for Music Learning Activity	Kazuya ISHIDE (47)
What is the Concept of "On-Bi-Tai (Music, Art and PE)" in Primary School	Nobuyoshi FUMOTO (55) Hideto UENO
Control Behavior of Tapping Strength and Tapping Speed for Young Children	Nobuyoshi FUMOTO (63)
A study of educational theory on the risk of Internet and keitai on children	Yoshimitsu OTANI (73)
Effect on colon cancer cell culture of oligosaccharides in the water soluble fractions of some fruits	Seiko ITO (83) Keiko OHTA Yoji KATO
The Study about Historical Transition of Home-Based Day Care in New Zealand: Focusing the Position in the ECEC System	Yuki IINO (89)
Study on the Establishing Process of Kōhanga Reo in New Zealand	Yuki IINO (95)
Basic Study on the Assessment of ECEC with Socio-Cultural Approach : Focusing the Theoretical Background	Yuki IINO (107)
The Treatment of Listening in the National Core Arts Standards : Through the Review of Draft Standards of Music from Pre K to 8th Grade	Hiroaki TAKEUCHI (113)
How the Student Teacher in Kindergarten Construct Educational Practice : By Interview Surveys of Practice on "Eyes Putting Grape" Production	Hiroaki TAKEUCHI (121)
Comparison of School Health Education in America and Japan : An Examination of U.S. National Health Education Standards (NHES), Health Education Curriculum Analysis Tool (HECAT2012), and HealthSmart for early elementary grades	Kazuko MENZAWA (129)
Examination of Effects of Teacher Education Program Reform on Graduating Students : Comparison among the three generations with special reference to ego-identity status	Akihiko TOYOSHIMA (139) Hirotoshi FUKUSHIMA Satoko YOSHIZAKI Kyoichi HIRAOKA Atsushi YOSHINAKA
Time perspective and career self-efficacy of junior high-school students : Comparison among career maturity attitudes	Satomi YADA (149) Atsushi YOSHINAKA